

路地百選推薦書

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	日ノ出町・黄金町京急高架の路地
所在地	横浜市中区日ノ出町・黄金町京急高架の路地

【推薦する理由（路地のよいところ）】

京浜急行日ノ出町駅から黄金町駅までの高架脇の 500 メートル（両側なので 1 キロメートル）の路地である。京浜急行黄金町駅付近一帯は 1945 年の横浜大空襲で壊滅し、戦後は、問屋街からヒロポンや麻薬の密売所と非合法の特殊飲食店街（青線地帯）に様変わりした。「ちょんの間」と呼ばれる黄金町の特殊飲食店街は 1958 年の売春防止法施行後も相当な規模で存在し続けた。2009 年の「横浜開港 150 周年」に向けて街のイメージアップを図るため、2005 年 1 月 11 日より、「バイバイ作戦」と名づけられた警察による集中的な摘発がはじまった。環境浄化推進協議会などを立ち上げる等ちょんの間を改装し店舗として利用した、若者向けのバーやカフェ等通常の業態の飲食店が開店し始めている。

【写真添付】



高架脇に路地が広がる。高架下はかつて青線地帯。今は、塀に囲われている。
 上：塀を利用したアート
 右下：高架を補強し、アート空間として利用している。

路地のまちの概要	面積	約 h a	路地の延長	約 500 m
	まちの成り立ち、特色等	黄金町は、京浜急行電鉄黄金町駅の所在する南区から日ノ出町駅方面に向かって黄金橋までの中区を含む大岡川沿い一帯の通称である。 1869 年に黄金町と名付けられた。1930 年に湘南電気鉄道（現在の京浜急行電鉄）の黄金町駅が開業し、京急の前身の 1 つである湘南電気鉄道が浦賀・逗子まで開業したこの年、横浜側の仮の起点駅となっていた。その翌年、日ノ出町駅まで開通して横浜駅まで乗り入れを始める。横浜～黄金町駅間には昭和ヒト桁に敷設された高架橋がそのまま残っていて、往年の面影を偲ばせている。		

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。